

様式第3号（第10条関係）

会 議 録

会議の名称	第5回白岡市上下水道事業審議会	
開催日	令和6年12月23日（月）	
開催時間	午前10時から午前11時30分まで	
開催場所	白岡市役所 4階 会議室404	
出席者（出席委員） の氏名・出席者数	青木保、岡安広、佐藤肇、黒須大一郎、矢島静江、関美恵、江原晃、 遠藤良和、木村敏博	9人
欠席者（欠席委員） の氏名・欠席者数	中山廣子	1人
説明員の職・氏名	上下水道部長兼経営課長 内田学 経 営 課 主 幹 石川剛、主査 井上和也	
事務局職員の職・ 氏名	上下水道部長兼経営課長 内田学 上下水道課 課長 安藤勝、課長補佐 安野隆三、主幹 齋藤三彦、 主幹 齋藤清人 経 営 課 主 幹 石川剛、主査 井上和也	
その他会議出席者 の職・氏名	市長 藤井栄一郎	
傍聴者数	なし	
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 議事 （1）適正な水道料金水準の検討に係る審議の進め方について 4 その他 5 閉会	
配布資料	・次第 ・適正な水道料金水準の検討に係る審議の進め方について ・令和6年度白岡市上下水道事業審議会スケジュール（案）	

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 事 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会 事務局の司会進行により開会する。
青木会長	2 挨拶 青木会長から挨拶がなされる。
藤井市長	藤井市長から挨拶がなされる。 (藤井市長退席)
事務局	3 議事 白岡市上下水道事業審議会条例第6条第1項の規定では、会長は議長となることとなっておりまして、ここからは、青木会長に進行をお願いしたいと存じます。
青木会長	それでは、議長を務めさせていただきますので、御協力のほどよろしくお願いたします。 (1) 適正な水道料金水準の検討に係る審議の進め方について はじめに、(1) 適正な水道料金水準の検討に係る審議の進め方について、事務局の説明を求めます。
事務局	議事「(1) 適正な水道料金水準の検討に係る審議の進め方について」を説明する。
青木会長	説明が終わりましたが、何か御質問はございますか。
D委員	資料11ページにある預金残高の約12億円について、白岡市では一括で資金管理をしていると議会で説明がありましたが、通帳は一般会計と一括で管理しているのでしょうか。
事務局	公営企業につきましては、一般会計やその他の特別会計とは完全に切り離されております。この12億8500万円は、水道事業の通帳に入っているものです。
D委員	総括原価方式の考え方で料金を検討するという話ですが、総括原価はいわゆる公共料金の基本的な考え方となりますが、一番の課題はコスト削減のインセンティブとなる経営努力が入っていないことです。 経営努力や経費削減方法については、例えば、水道料金は検針員が2か月に1回見に来ていますが、ガス料金ではリモートで検針員が来なくても全て分かるようになっていきます。そういう技術革新も含めたコスト削減の努力をしていかなければなりません。総括原価方式は、コストが上がったので努力するというものではなくて、単に適正なコストになっているかどうかを判断するものであり、コスト削減の努力

	<p>がされていることを踏まえたものが、本来の総括原価だと思います。今回の資料には、そのコスト削減に対する考え方や経営努力が全く記載されていないので、「はい、そうですか」というわけではいかないと思います。</p> <p>事務局 経営努力については、委員御指摘のとおり、資料2ページの根拠法令のとおり「公営企業については、能率的な経営の下」というのが大前提でして、コスト削減といった経営努力をした上で料金の算定を行うということです。</p> <p>例えば、先ほど委員からお話いただいたスマートメーターについては、既に検討を始めております。現在、市内1か所にスマートメーターを設置しまして、正しく検針ができるかテストを行っています。一方で、コスト面では多くの課題がございまして、スマートメーターは、現行の目視するメーターと比べて1個当たりのコストが10倍から20倍となっており、現在は検針員が巡回する方法の方がコスト面では安くなっております。スマートメーターのコストの推移については、常に注視いたしまして、コストが均衡・逆転が見込まれる時期には、変更も考えていかなければならないと思います。少なくとも現時点においては、現在の検針方法がコスト的には有利だということで、そちらを選択しているところです。</p>
D委員	<p>水道事業は、競争相手がいないわけですし、生活上の社会インフラ、大切なものを扱っていますが、なかなかコスト削減の努力が見えてきません。そこをきちんと説明した上で、また将来のビジョンを見据えた上で、こういう形で改定したいという説明をしていただきたいと考えています。白岡市の水道料金は、埼玉県内では決して安い方ではありません。全国では、水道料金が一番低い団体と高い団体では、8倍の差があります。白岡市の水道料金を適正に決めるためには、コスト削減の努力と未来を見据えて、「このお金が必要だから、このようにしてください」という説明を、単に積み上げるのではなく、資料で示していただきたいと思います。</p> <p>白岡市の行政改革では、令和3年度時点で、令和6年度には全部の基金がなくなると示しましたが、実際には起きていません。当時の資料では、10数億円の預金全て無くなってしまいますという説明でしたが、その資料が本当に正しいかどうか分かりません。今まで実施してきたコスト削減をしっかりと資料に示していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>コスト削減の面については、先ほど料金の比較をしていると説明しましたが、より効率的な経営ができるように努力をしております。こちらについては、委員の皆様にも伝わるような資料の作り方を工夫させていただきます。</p> <p>また、行政改革の計画において、基金が枯渇する想定だったにも関わらず実際には枯渇していないという指摘ですが、これは、経営破綻しないよう財源がない時には、ないなりの予算を編成しているためです。</p> <p>これは水道事業でも同様で仮に、今回料金改定をしない、あるいはランニングコストまでしか引き上げない場合は、出来る範囲の維持管理と更新のみを行って経営破綻を先延ばしにすることになります。お示した現金預金残高の見込みについては、将来を見据えて水道事業を存続させるために必要な更新工事を行った場合は、</p>

<p>D委員</p> <p>青木会長</p> <p>I委員</p>	<p>このような現金の推移になるという推計を載せております。</p> <p>将来のことを考えるあまり、今経営破綻するという状況になってはなりませんので、料金収入が不足するのであれば、それに対応する予算の組み方をするようになります。そのため、現実的にはこういった状態にならないというのは、ある意味で御指摘のとおりです。</p> <p>一方で、それは施設更新を先送りするということで、行き着く先は、笹子トンネル事故のような事態となってしまいます。我々といたしましては、将来を見据えて必要な更新工事を実施し、安心安全な水道水の供給を維持したい、そのために必要な予算を維持させていただくための費用を示させていただいたものです。</p> <p>現金が枯渇してはいけないので、事業を減らして何とかするのは当然だと思います。総括原価方式においては、いわゆるコスト削減の努力をどれくらいしているか、この先技術革新がどれだけ行われるのか、そういう姿勢を入れていかなければ、本当に適正かどうか分かりません。また、技術の伝承にどのように対応していくかという課題もあります。</p> <p>水道事業は、専門性を問う業種のため、技術を所持している人だけができる事業だと思います。そういうことも含めて、全体のコストを見ながら、コスト削減、経営努力、能率的経営など、これまでの取組だけではなく、これから先のことを踏まえた資料を示していただきたいと思います。</p> <p>D委員から要望があったとおり、コスト削減について、今まで努力してきたものやこれから実施すると考えているものについて、資料の提供をお願いしたいと思います。</p> <p>経営戦略を作った過程では、我々の審議は終わっています。本来はその段階で、我々が考えなければならなかったことだと思います。経営戦略には経営努力が書かれていませんが、審議をして賛成をしています。これは、我々の反省点だと思います。これから経営戦略に経営努力やコスト削減、技術革新への対応を反映させることは無理です。経営努力や技術革新への対応について、今こういう問題があるが、実際に対応しているがコストがかかるといった点は情報提供していかないといけないと思います。リモート検針についても、電話回線のできるのではないかとと思われることもありますので、「実際に、コストはこの位になります。ここまで検討していますが、コストが高いから導入していません。数年後には、導入できるかもしれません」というようなことを丁寧に情報提供していかないと、市民の方は「なぜ、改定するのか」となってしまいます。</p> <p>我々も、今回の水道料金収入だけではなくて、一般会計から繰入しているところも多く、実際にはその両方が収入ということでもありますから、なかなか市民の方には分からないわけです。料金を上げるという時は、そういうきめ細かい情報提供をできるだけしなければなりません。私も経営戦略の検討過程で判断をするべきだったと反省していますが、今後の問題として、リモート検針などの情報提供をしていただいて、これは我々だけではなくて、市民の方にも提供しましょうということ</p>
-----------------------------------	---

<p>青木会長</p>	<p>今後審議していけばよいのではないのでしょうか。</p> <p>確かに経営戦略の中で、収入の方法について、審議することが抜けていたと思います。</p>
<p>F委員</p>	<p>事務局の説明を聞いた中では、本当に大変な状況だと納得しています。しかし、水道料金を払う立場としては、これから私たちの生活はどうなっていくのだろうと不安な気持ちが大きくなったのも事実です。</p> <p>白岡市の水道代のことを友達等に話をすると、一般家庭では水道料金は通帳から引き落としされてしまうので仕方ないと諦めの気持ちでいる方が結構多いです。</p> <p>電気代やガス代は自分たちで安い方へ選べますが、水道代は選ぶことができなく、生活に欠かせないもので、この先どんどん料金が上がっていくと、選ばれた人だけが水道を使えて、選ばれない人たちは生活がどんどん困窮していくのではないかと不安になってしまいます。そういう不安感を抱くことなく、適正な水道代で水道を使っていける状況を示してほしいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員の皆様から御意見をいただきましたので、事務局として、どのように経営努力し、コスト削減等についてどのように検討しているのかといった内容をお示しできるような資料を作成していきます。市民の方の負担となりますので不安とならないよう、他団体比較等も示しながら、委員の忌憚のない意見をいただき、近隣団体とのバランスも加味して、検討していきたいと考えています。水道使用者、下水道使用者として選任された委員の方には、特に市民の目線、市民側の立場で意見をいただく必要性を感じて選任させていただいておりますので、そういった視点から審議をしていただければと思います。</p>
<p>G委員</p>	<p>資料6ページに記載されている石綿セメント管についてですが、かなり古い管でその更新に莫大な費用がかかると思います。</p> <p>そのための資産維持費を計上しなければなりませんので、料金改定は必要なことと思います。</p>
<p>D委員</p>	<p>石綿セメント管については、以前から速やかな更新の必要性を申し上げており、年々ピッチを上げて更新がされております。当時は、平成40年ぐらいには解消できそうだという回答をいただいたように思います。しかし、コロナ禍もあり、状況は変わっており、もう少し時間がかかるかもしれないということです。石綿セメント管だけではなく老朽管の更新もしていかなければなりませんので、コストがかかると思います。</p> <p>また、白岡市の人口は伸びているのに水道使用量が増えていないのは、需要が減っているということになります。今後は、水道使用量を増やしていくことも大切であり、その見込みの資料も必要だと思います。コスト削減の資料として、需要の問題や人口減少、高齢者世帯の増加など、事務局としてどのように考えているのか、資料に含めるべきだと思います。</p>

<p>B委員</p>	<p>資料11ページについては、預金残高が11月末で12億8,500万円となっていますので、ゆとりがあるように見えます。県水の値上がりに加えて、施設の更新等で費用が掛かるため、令和13年度にはマイナスになる推計ですが、この中で占める割合が浄水場の更新工事の約10億円と大規模となっています。</p> <p>県水受水費の値上がりだけであればやむを得ないと考えられますが、この施設の更新が一番のコスト要因となりますので、今までどういう努力をして、ここまで施設を維持してきたのか、今ここでどうして工事が必要なのかという説明を市民の方は求めるのではないかと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回の浄水場の設備更新は、主に電気設備であり、中央監視制御装置は耐用年数を大きく超過しています。電気設備は、耐用年数を1年超過したからといって水道水の品質に影響が出るものではありませんので、使用できる部分は可能な限り長く使用の方針として、メンテナンスや修繕をして使ってきましたが、それも限界であろうということで、今回で更新のタイミングを迎えました。これからも水質に直接影響しない設備は、耐用年数を超過しても可能な限り適切なメンテナンスをしながら、できるだけ長く使用していきたいと考えております。今回の機器更新等はタイミング的なものであり、料金改定の前に更新してしまおうという趣旨ではありません。また、現在の約13億円の残高は、将来のためのコストや大きな工事等を要するために備えて、毎年少しずつ貯めてきたものであり、誤解を招くタイミングではありますが、本来の目的で使っていくこととなります。</p>
<p>C委員</p>	<p>皆様の御意見のとおり、コスト削減はとても大変なことです。一般的な企業の経営と公共事業の経営は、給水サービスや維持管理のためなど、水道サービスを継続していくという大きな目標もあると思うのですが、一委員としては値上げしてほしいものではないものです。コスト増は、直接会社経営に響いてくるものです。そこを納得させるためには、積み上げ方式だけで説得するには、少し無理があるかと思えます。将来的にコスト削減の方法は、行政の縦割りではなく、他市町のどこかと共同で運営管理してもよいかもしれません。そのことによって、人件費も削減されるかもしれません。</p> <p>総括原価方式の積み上げだけではなく、これから人口が少なくなることで、様々な消費量も減ってくる中で、企業も公共事業もその在り方は変わってくると思います。我々の使ってる商品でも、10年後にどうなっているかと考えたら、ものすごい過渡期です。国では足りなかったら税金だとなりますけど、そうではなく、コスト削減できることは、本来沢山あるのではないかなと思います。結論が出ないとしても、コスト削減についても縦割りではなく、もっと柔軟な発想の中で考える必要があります。</p> <p>資料10ページの現行の料金収入では足りないので、総括原価を賄うということは、料金改定ありきに見えます。経営努力が見えないと、最終的には市民の皆さんに納得していただくものになりにくいのではないのでしょうか。もっと知恵を働かせたコスト削減があって、その上でこういう風になります、例えば一般会計から補填</p>

<p>事務局</p>	<p>しなければいけませんといった話になると思います。そのあたりで、もう一つ工夫が必要と思っています。具体的に表現することは難しいですが、検討していただきたいです。</p> <p>御指摘のとおり、企業の経営面については、より努力をしていかなければならないところです。資料10ページですと、緑と黄と青の色だけで表現しておりますが、この緑の中には、様々な項目がございますので、その項目の中でどこが削減の余地があるのか、細かく切り分けて、この項目は県水受水費を使った分だけ払わなければならない金額であるとか、一方で、この項目は経営努力で削減の余地がある費用ですといったことをお示ししながら、それを今後どうやって削減していくかといった件についても、検討資料の中で工夫してお示ししたいと考えております。</p> <p>また、縦割りではなくとお話しがあったように、現在、埼玉県で共同化・広域化について検討部会を設けておりまして、まだまだ進んでいないところではあります。今後の課題としてあります。</p> <p>さらに、水道事業側のコスト削減ではありませんが、現在、農業集落排水と水道料金は別々に徴収をしています。これを一括徴収することで、農業集落排水のコストを削減しようと考えており、次回の料金システム入れ替えのタイミングでまとめられるように内部で検討を進めています。</p> <p>農業集落排水のコスト削減のため、水道事業ではないですが、縦割りに限らず、こういった取り組みがあるという話も今後の資料で説明をしていきたいと考えております。</p>
<p>D委員</p>	<p>白岡市の給水加入金は、他市町と比較して結構高くなっていますが、これも一緒に値上げしてしまうのではないかと懸念があります。水道を使ってくれる方が増えれば、使用量も増加し、料金収入も増えるかもしれません。今回の水道料金の改定に当たっては、給水加入金を下げるという考え方も入れていただきたいと思えます。</p> <p>企業誘致という意味では、大口径の給水加入金を下げることも検討していただきたいです。75ミリメートルになると1,000万を超える給水加入金が必要となりますので、白岡市に食品会社が少ない一つの要因ではないかと思えます。</p>
<p>事務局</p>	<p>当市の大口径の給水加入金が近隣に比べて高いため、改定について検討することについては、御指摘のとおりです。一方で、給水加入金を増減させた時の人口動向の増減の見込みは非常に難しいところです。特に、今はランニングコストを下回っているため、なるべく収入を上げていきたいという状況の中で、給水加入金の検討に着手して、令和8年4月の改定に検討が間に合うのかというところもあり、難しいのではないかと考えております。令和8年4月の改定に間に合わせるためには、スケジュールを加味して、急ピッチな検討が必要となりますので、水道料金だけでなく給水加入金を含めて十分に審議することができるのか懸念されますので、まずは水道料金改定に重きをおきまして、審議していただきたいと考えております。</p>

I 委員	<p>給水加入金は、昔の電話加入権のように最初に掛かる債権と同じです。以前、人口は減っていると話ししましたが、あくまでも夜間人口の話です。昼間人口という考え方があって、工場や会社等を誘致すれば、そこには昼間仕事に白岡市へ来るわけです。水道を使う方が増えれば、全体として水道使用料の収入は増加し、我々としては、その収入の恩恵を受けられるわけです。</p> <p>そういう意味では、企業に対する給水加入金を下げることは経営戦略の大きなポイントだと思います。資料10ページの現行の料金収入には、給水加入金の金額は入っていますか。</p>
事務局	<p>入っておりません。</p>
I 委員	<p>それは、別途管理されていますか。</p>
事務局	<p>別途管理しています。</p>
I 委員	<p>その費用は、別途プールされていて、水道料金に充填されるわけです。日本中でまちが存続していくということは競争ですので、人が集まるまちにしなければならぬ。そういう意味では、企業に対する給水加入金を減額する件について、間に合わないでしょうか。年間で、給水加入金はいくらぐらいですか。</p>
事務局	<p>年間で、6～8000万円ぐらいです。</p>
I 委員	<p>仮に1億円とし、1割でも1,000万円ほどですので、水道料金が上がることに比べれば、小さいと思います。検討をよろしくお願いします。</p>
青木会長	<p>給水加入金の件については、知らなかったので必要だと思います。</p>
D委員	<p>白岡市の事業者が使う口径でいうと40ミリメートル以上、食品会社であれば75ミリメートル以上となるなど、数パーセントの利用者の対象になると思うのですが、要は審議会で話が出たわけですから、一般の方が使用する13ミリメートルや20ミリメートルは検討できないかもしれませんが、これから来ていただきたい事業者が使用する40ミリメートル上の口径については検討できるはずで、給水加入金は、総括原価の資本費用に入れるべきだと思います。</p>
I 委員	<p>検討の時間はあると思いますが、審議が終わらなかったとしても、審議会の委員の意見として必ず明記していただきたいです。</p>
事務局	<p>給水加入金の現状については、どういったものなのか、どの位の収入があるのか、総括原価方式では水道料金算定要領上で入らない計算となっているが、実際に加えた場合はどうなるのかなど、今後の資料でお示ししていきたいと思います。給水加入金の減額について意見がありましたので、今後の審議会の中で御意見をいただ</p>

	<p>ればと思います。仮に、給水加入金について審議できない場合であっても、答申の中で追記したいと思います。今後作成する資料の中で、比較できるものについては、お示ししたいと思います。</p>
部長	<p>皆様には、貴重な御意見をいただきありがとうございます。この審議会は様々な立場の委員の方に御意見を頂戴してるところです。本日の審議会では、「適正な水道料金水準の検討に係る審議の進め方について」という議題で参加いただき、その中で「これも検討すべきではないか」という御意見がありました。今後も審議会を開催し、その中でいただいた御意見をもとに資料を提供させていただき、御意見を頂戴した上で、その都度対応できること、できないことがあると思いますが、調整させていただきながら進めていきたいと思っています。</p>
青木会長	<p>口径別の水道料金についても検討することとなりますので、給水加入金も触れないわけにはいかないと思います。事務局において、案を示していただきたいと思っています。そのほか、御意見、御質問はありますか。</p>
E委員	<p>私たちが使っている水道は、既に60年以上が経っていて、最初の会議でもお話ししましたが、地域の方が水質の心配をされています。町中心部の水は暖かく、私たちの地域はとて冷たいです。長い時間かけて浄水場から流れていることで、地元の方もすごく心配しております。私たちのところは、浄水された水が最後に来る地域です。国でも、発がん性物質が入っているか検査をなささいというニュースが流れてました。</p> <p>このような審議会の時に様々な意見を聞いて、一番大事なのは何か、どこを先にやるかということも、本当は検討していただきたいということです。私たちは、地域の安心安全な水道水を利用しながら生活しているので、水道料金が上がることに対しては、様々なものの値段が上がってますので、やむを得ないとは思いますが、やはりこの時点で検討を先送りと聞くと残念に思います。</p> <p>意見が出たことは必ず検討して、こういう訳でここはちょっと難しいということを経験して、最後に言ってほしいと思います。私たちは前向きにここに参加させていただいて、一般の水道利用者の代表として来ているわけです。そういう意味で前向きな検討をして、前向きな御意見が出て、返答も前向きにやっていただきたいと思っています。委員の意見を少しでも多く組み入れて、やっていただきたいと思っています。</p>
青木会長	<p>他に何か御質問等はございますか。</p>
委員	<p>(なし)</p>
青木会長	<p>以上で、本日の議事を終了といたします。委員の皆様の特段の御協力に感謝申し上げます。議長に御挨拶を申し上げます。議長、議長の任を解かせていただきます。御協力ありがとうございました。</p>
	<p>4 その他</p>

事務局	青木会長には、円滑な議事の進行、誠にありがとうございました。
事務局	それでは、次に、「4 その他」について、最後に事務局から2点ほど連絡事項があります。
事務局	<p>① 報酬及び費用弁償の支払いについて</p> <p>② 次回の会議の開催について</p> <p>それでは、ただ今の説明について、御意見・御質問等がございましたらお願いいたします。</p>
委員	(なし)
事務局	御質問がないということなので、議題「4 その他」につきましては以上となります。
事務局	<p>5 閉会</p> <p>委員の皆様には長時間にわたり、議事の審議をいただき、ありがとうございました。これもちまして、令和6年度第5回白岡市上下水道事業審議会を閉会とさせていただきます。御協力、誠にありがとうございました。</p>